

## 2011年第3四半期(1-9月)課税出荷数量ヘッドライン

### 1. 市場全体の概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル市場は、上半期の東日本大震災の影響や、猛暑だった昨年の裏返しと、台風などの影響もあり、マイナス(▲3.4%)。
- ◆ ビール市場は、マイナス(▲4.2%)。
- ◆ 発泡酒市場は、マイナス(▲12.7%)。
- ◆ 新ジャンル市場は、プラス(+2.6%)。構成比は35.3%。

### 2. キリン社概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル計は、市場同様にマイナス(▲4.9%)。
- ◆ ビール計は、マイナス(▲4.9%)。
- ◆ 発泡酒計は、マイナス(▲9.0%)となったものの、業界平均を上回った。
- ◆ 新ジャンル計は、マイナス(▲1.3%)。「のどごし〈生〉」はプラス(+1.5%)と好調を継続。

#### 《ビール・発泡酒・新ジャンル》

- 市場同様に、マイナス(▲4.9%)となったものの、定番商品強化の効果もあり、「のどごし〈生〉」「淡麗グリーンラベル」はプラスとなった。

#### 《ビール》

- 「一番搾り」は、マイナス(▲2.6%)となったものの、市場平均(▲4.2%)を上回った。

#### 《発泡酒》

- 「淡麗グリーンラベル」は、新テレビCMの効果もあり、プラス(+1.7%)を達成。
- 発泡酒市場に占めるシェアは、第3Qとしては過去最大を記録。

#### 《新ジャンル》

- 新ジャンルカテゴリーで圧倒的な販売を誇る「のどごし〈生〉」が、2005年の発売以来、第3四半期としては最大となる3,558万ケースの販売を記録。新ジャンル市場に占めるシェアも約3割を超えた。

※「一番搾り」「淡麗グリーンラベル」「のどごし〈生〉」の対前年比は販売数による

以 上